



# 1月 虹だより

虹のこころ保育園

皆さまと出会うことができた貴重な年となりました。

年末年始の休暇が取れるご家庭は帰省やお出かけになることもあると思います。事故には十分気を付けてください。また、日々忙しくされていらっしゃる保護者の方々、少しでもお休みになれることを祈っています。

そのような言葉とは裏腹に、お子さんが小さいうちはなかなかご自分の時間を作ることが難しいです。ですが、子どもの成長というのはあっという間です。そして、あっという間のこの時期は親が子に密に接することで子が安心して親離れをしていくようです。お疲れのところ、お忙しいところ大変でしょうが、しばらくの間、肩ひじを張りすぎず、お子さんに寄り添っていただけること願っています。

## あたらしいおともだち♪



## 1月の予定

- 4日(金) 弁当持参日
- 5日(土) 弁当持参日
- 18日(金) 交通安全教室  
(3, 4, 5歳児)
- 24日(木) 誕生会
- 25日(金) 避難訓練
- 31日(木) 観劇(3時~ホール)

## お願いとお知らせ



- 進級のための懇談会を開きたいと思います。日程は後日お知らせ致します。
- 来年度進級にあたり、教材、体操服、帽子の販売があります。詳細は後日お知らせいたします。(帽子はクラスカラーですので、恐れ入りますが全員揃えていただきます)
- ちゅうりっぷ組は3月8日金曜日に卒園遠足を予定しております。
- 危険防止のため、お手間ですが自転車は駐輪場に止めてください。
- 玄関前駐車場は7:30~9:00は許可証をお持ちの方のみ駐車できます。

## 夫の家事育児 モヤッ

10月1日朝日新聞から、父親として出産準備や家事、育児に悩む3人の記者の経験を6月、生活面に3回掲載したところ、夫への怒りや諦めをつづった反響が寄せられました。中には「離婚を告げた」「ワンオペ」という文字だけで涙が出る」といった悲しみに満ちた声も。家事や育児の分担でモヤモヤを抱える妻の本音を記者が夫にぶつけてみたところ、見えてきたものは？

家事や育児「分担」の実情は、食事の献立を考える・調味料を補充、交換する・子どもの送り迎えをする・アイロン掛けをする、の項目が夫よりも妻の方がダントツ多く、古くなった照明の交換は夫がダントツ多い結果が見られています。そして、夫の家事・育児の分担割合は夫婦間で認識にギャップがあることも見えています。

妻の言い分は「見えない家事」は共働きなのに女性が担っていて、夫はその格差に気づかずにいるといます。ある妻の言い分は「例えば、夫の『洗濯』に週末のシーツは含まれていません。衣替えの準備をするのも私。いつやるかを考えて、クローゼットから出して洗濯…。夫は認識していません。それで『半々』とされるのは、違うのではないかって」。夫は「見えないもの、気づかないものが、ほかにもあるのかもしれない。『半々』と思いながら、できてないかも」

「出産後、夫への愛情はガクッと下がる」「一部のグループは愛情が回復する」。15年前そんな「女性の愛情曲線」について調べた渥美由喜・東レ経営研究所主任研究員によると、「女性の妻の愛情が回復する」夫婦は、共通の趣味があったり、余生について話し合ったりしていました。同時に、夫は、子どもとの結びつきが強かった。つまり、妻と子、双方と良好な関係を築いていたのです。ケース・バイ・ケースですが「忍耐強く相手の言葉に耳を傾ける」「失敗を繰り返さない」「相手を励まし、応援する」などが、回復グループの夫に共通の傾向ということでした。

2018年10月1日朝日新聞フォーラムより抜粋

ただ、以前に「話を聞かない男、地図が読めない女」という本が出たように、脳科学の世界の問題も関わってきますし、女性しかできないこともありますから、お互い言い訳はせずに思いやりを持って生活できることが最高だと、還暦を目前にした年寄りの勝手な感想です。

副園長 川崎



## 発表会のご参加、アンケートのご協力、ありがとうございました

アンケート結果のご報告です。

- ① 個性が見られる工夫をしてくれていた。
- ② 発表するクラスの家族が前列で観られてよかった。
- ③ 2クラスでもいっぱいだったので、ちょうど良いと思う。子の待ち時間も短くてよかった。
- ④ 家庭2名までのお知らせをもう少し早く知らせてほしかった。祖父母に調整を付けてもらった後だった。

駐車場のスペースがありそうだったので、遠方の人でも利用できるようにしてほしい。他のクラスも観たかった。人数的にも前列で写真を撮っても問題はないのでは？

次回の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

また、よつば組の保護者の方には発表が終了した時点でホールから退出される事態となってしまいました。分かりやすくお伝え出来ずご迷惑をおかけしました。

